

## 第一章 あこがれと学び、夢・ロマンと科学 — 13

子どもは不思議が大好き	15
良い試験、悪い試験	18
数学好きにはたまらない授業	21
エネルギーを傾注できるもの	23
騎士道にあこがれたドン・キホーテのごとく	25
ロマンですすむ研究者への道	27
銭湯帰りに理科教室	30
転機は高校時代にやってきた	32
僕の受験勉強	33
大学での学びは新鮮だった	36

よく遊び、よく議論し合った	40
坂田教室でも治らなかった「浮気性」	42
ファールをうならせたバスツール	43
エジソンはなぜ失敗したか	47
「真空管授業」から見えてくる科学教育の本質	51
「自由」と科学とヘーゲルと	54

## 第二章 女房の教育的指導とノーベル賞 — 57

予想できた?! 受賞	59
受賞を「うれしくない」と言った理由	61
王室と皇室と	63
「僕は文化人じゃなく野蠻人です」	66
女房からまたまた教育的指導	68

ノーベル財団のエレガントなおもてなし

70

### 第三章

#### 三度の飯より素粒子論

75

「パリテイの破れ」との出会い

77

実験で確かめられたCPの破れ

79

世界は対称なのか非対称なのか

81

速報会デビューでの因縁

83

物理学大混乱の時代

85

小林誠君との出会い

92

「だからダメです」

93

苦しみの中での組合活動

95

お風呂あがりに大発見

98

二リットルジヨッキで乾杯

101

実験で証明、そしてマスコミ攻勢  
近いうちにもっと大きな出来事が

108 103

### 第四章

#### 戦争は嫌い、僕は臆病者だから

111

国が国を力でやり込めるのが戦争

113

先輩の凄まじい戦争・被爆体験

115

改憲の狙いは交戦権

119

世界は必ず進歩する

122

おわりに

124